

平成31年2月8日  
独立行政法人農畜産業振興機構

肉豚経営安定交付金（豚マルキン）について

【平成30年度第1～3四半期】

平成30年4月から12月までの算出期間（平成30年度第1～3四半期）における、畜産経営の安定に関する法律（昭和36年法律第183号）第3条第1項に規定する交付金について、肉豚経営安定交付金交付要綱（平成30年12月21日付け30農畜機第5241号）第4の5の（1）の規定により算出した標準的販売価格及び同（2）の規定により算出した標準的生産費を公表します。

なお、肉豚経営安定交付金が平成30年12月30日から開始されたことから、今回の算出結果については、平成30年12月30日又は12月31日に販売された肉豚に適用されます。

記

算出期間	平成30年4月から12月まで
肉豚1頭当たりの標準的販売価格	36,609円/頭 (①)
肉豚1頭当たりの標準的生産費	33,402円/頭 (②)
肉豚1頭当たりの交付金単価 (参考)	— (①>②のため交付なし)

注：平成30年12月29日以前に販売された養豚経営安定対策事業の事業対象肉豚に適用する養豚補填金は、別途公表しているとおりです。

連絡先

畜産経営対策部 養豚経営課  
担当：高城、池田、工藤  
電話：03-3583-1150

# 確定

## 肉豚経営安定交付金算定基礎 【平成30年度第1～3四半期】

(単位：円/頭)

標準的販売価格	(A)	36,609
標準的生産費	(B)	33,402
差額	(C) = (A) - (B)	3,207
交付金単価(参考)		(A) > (B) 交付なし

注：消費税抜きで算定しています。

(単位：円/頭)

	区 分	平成30年度第1～3四半期 (30年4月～12月)
標準的販売価格	(A) = ① + ②	36,609
主産物価格	① = a × b	35,796
平均枝肉価格(円/kg)	a	471
平均枝肉重量(kg)	b	76.0
副産物価額	②	813
標準的生産費	(B) = ③ + ⑦	33,402
飼料費、労務費その他の費用	③ = ④ + ⑤ + ⑥	31,248
飼料費	④	19,460
流通飼料費		19,458
麦類		19
とうもろこし		456
配合飼料		16,746
脱脂乳・人工乳		1,179
その他		1,058
牧草・放牧・採草費		2
その他の費用	⑤	7,508
敷料費		105
光熱水料及び動力費		1,657
その他の諸材料費		46
獣医師料及び医薬品費		1,935
賃貸料及び料金		250
建物費		1,178
自動車費		232
農機具費		697
物件税及び公課諸負担		171
生産管理費		127
種付料		125
もと畜費		19
繁殖めす豚費		733
種おす豚費		120
支払利子		104
支払地代		9
労務費	⑥	4,280
家族		3,428
と畜に係る経費	⑦	2,154
参考		
自己資本利子		539
自作地地代		84

(参考) 肉豚経営安定交付金の算出方法について

1 標準的販売価格（主産物価格と副産物価額の合計）

(1) 主産物価格

農林水産省から取引価格が公表されている 25 市場において格付された豚枝肉（品質が著しく劣るものとして格付されたものを除く。）の平均枝肉価格（円/kg）に平均枝肉重量を乗じて得た額とします。なお、品質が著しく劣るものとして格付されたものには、公益社団法人日本食肉格付協会により「等外」として格付されたものが該当します。

(2) 副産物価額

農林水産省の「肥育豚生産費」の「副産物価額（事故畜、販売された子豚、繁殖雌豚、種雄豚及びきゅう肥）」の額（内臓・原皮代は含まない。）とします。

2 標準的生産費（飼料費、労務費その他の費用、と畜に係る経費の合計）

(1) 飼料費、労務費その他の費用

農林水産省の「肥育豚生産費」の「費用合計（物財費（飼料費、光熱水道費、獣医師料及び医薬品費等）及び労働費）」、「支払利子」及び「支払地代」の額とします。費用合計の費目のうち、農林水産省の「農業物価指数」の調査対象となっている費目については、肥育期間（7 か月）の価格に物価修正します。

(2) と畜に係る経費

25 市場のと畜に係る経費（と畜検査手数料、と畜解体料、と畜場使用料、冷蔵庫保管料（1 日分相当）及び格付料）を各市場における並以上の取引成立頭数で加重平均して得た額とします。

3 消費税及び地方消費税の取扱い

標準的販売価格及び標準的生産費の計算に当たって消費税及び地方消費税が含まれている項目については、その消費税及び地方消費税を控除した額を用いるものとします。